

Sun™ Management Center 3.5



Sunシステムの管理操作をさらに容易に

Highlights

使いやすいGUIベースのインストーラと配備ツール

Sunシステムのアラーム発生時に対処方法を示唆するナレッジ・ベース

基本機能にSun Management Center 3.0におけるPremier Management Applicationsを追加

Java™ インタフェースとWebブラウザにより、どのプラットフォームからも複数のSunシステムをバーチャルに管理

数千もの属性をモニタし、イベントとアラームを管理

アラームのしきい値を超えるとスクリプトが起動し、問題を自動修正

ハードウェアとソフトウェアを詳細に診断

コンポーネントをリアルな物理ビューで表示

Sunシステムを一元的に集約

Sun環境によるシンプルな管理でサービス・レベルの管理コストを低減

複雑なタスクの定義と管理オブジェクト集合への割り当てが容易

主要サードパーティ製品と統合でき、全社規模の異機種環境に対応

DR(動的再構成)とドメイン管理もリモートで確実に制御

強力で使いやすいGUIインタフェースでカスタム・モジュールの生成 / 修正が容易

Sun Management Centerのインストール / 配備 / 管理がより一層簡単になりました。社内のあらゆるSunシステムを一元的に管理するこのソフトウェアは、サービス・レベルの向上と管理コストを軽減し、アプリケーションの可用性を高めるほか、SunのハードウェアやSolaris™オペレーティングシステム、アプリケーションのパフォーマンスとスケーラビリティを最適化し、シンプルな管理を実現します。

Sun Management Centerを利用すれば、エンタープライズ基盤がネットワーク上のどこからでもWeb経由で制御でき、Javaテクノロジー・インタフェースとWebブラウザを使って同時に数百台のSunシステムをアクティブに管理できます。Sun Management Centerは、Sun環境の装置や管理に関する包括的なノウハウを提供するほか、オープンなインタフェースを通じて他の管理プラットフォームと情報を共有することもできます。その結果システム管理が容易になり、全体的な管理コストも軽減されます。

サービス・レベルの向上

総合的なイベント管理とアラーム管理でシステム稼働を維持

障害分析 / システム・サイジング / キャパシティ・プランニングなどに不可欠なシステム・パフォーマンス・データや構成データの保存 / 分析が可能
総合的なオンライン診断テストでハードウェア障害を事前に検出

DRとドメイン管理に対応した安全性の高い管理制御

サービス・レベルを低コストで維持

複雑なシステムや反復的なタスクの管理を自動化し、時間の無駄をなくすと同時に人的なミスを抑制

予見的な障害分析で問題発生を未然に防止
管理効率を最適に保つエンタープライズ・レベルの機能(グループ操作、コマンド行インタフェース・ユーティリティ、モジュール構成伝播、モジュール管理など)



全社規模のスケールビリティ

Sunのデスクトップ、サーバ、ストレージ・システム、Solarisオペレーティングシステム、Solaris対応アプリケーションなど、すべてがリモート管理に対応。セキュリティ機能が内蔵されているので、管理者による環境制御が可能。CA Unicenter、HP OpenView、Tivoli、Netcoolなどの異種エンタープライズ管理機能とも統合可能。

カスタマイズ可能な開発環境

アプリケーションとハードウェア・デバイスのモニタリング用に新たなモジュールの作成が可能。クライアントAPIで開発者とSun Management Centerのインタフェースをサポート。GUIベースのモジュール・ビルダ(新モジュール開発用のパワフルで使いやすいインタフェース)。

Sun Management Centerの製品構成

基本機能

インストールGUIウィザード、配備ツール
基本ハードウェアとOSのモニタリング
アラーム / イベントのモニタリング
ディスクバリエーション
Sun Fire™システムのDR(動的再構成)
物理ビュー、Webコンソール
グループ操作
エージェント・モジュール構成
コマンド行インタフェース(CLI)
カスタム・コンソール・ビュー

アドバンスド・システム・モニタリング

完全なカーネル・リーダ機能
Solaris健全性監視
ファイルシステム監視
Hardware Diagnostics Suite(ハードウェア診断スイート)

システム・リライアビリティ・マネージャ

クラッシュダンプ解析
パッチ管理
ファイル監視
スクリプト起動

サービス・アベイラビリティ・マネージャ

Webサービスの継続監視
応答監視用の複合トランザクション
リモート・エージェント

パフォーマンス・レポート・マネージャ

データに関するグラフィック / レポート
パフォーマンスとトレンド分析
Webレポート
自動レポート生成

ライセンスと入手方法

Sun Management CenterはSunのWebサイトからダウンロードできるほか、Solarisメディア・キットのCDからも入手可能です。

このほかsun.co.jpまたはSun製品販売パートナーを通じてSun Management Centerメディア・キットを発注することもできます。基本機能は無償で使用することが可能です。その他の追加パッケージは、60日間の評価用ライセンスが付属しています。正式版ライセンスをご購入される場合には、Sun製品販売パートナーにお問い合わせください。

詳細

Sunのソフトウェア、製品、プログラム、ソリューションに関する情報はsun.co.jp/software/をご参照ください。

システム要件

オペレーティングシステム

- ・サーバ層
Solaris 9、Solaris 8
- ・エージェント層
Solaris 9、Solaris 8、Solaris 7、Solaris 2.6
- ・コンソール層
Solaris 9、Solaris 8、Solaris 7、Solaris 2.6、Microsoft Windows 98/NT/2000 Professional

ハードウェア・プラットフォーム

- ・SPARC®プロセッサ搭載のデスクトップとサーバ

基本インストールに必要なソフトウェア層ディスク空き容量

・サーバ層	800MB
・エージェント層	18MB
・コンソール層	62MB

アドバンスド・システム・モニタリング*

・サーバ層	3.3 MB
・エージェント層	2.02MB
・コンソール層	0.27MB

サービス・アベイラビリティ・マネージャ*

・サーバ層	1.6MB
・エージェント層	1 MB
・コンソール層	0.5MB

システム・リライアビリティ・マネージャ*

・サーバ層	3MB
・エージェント層	1MB
・コンソール層	0MB

パフォーマンス・レポート・マネージャ*

・サーバ層	5-24MB
・エージェント層	8-80MB
・コンソール層	3MB

関連する対応標準

- ・SNMP v1、SNMP v2sec、RMI、HTTP、HTTPS

* 基本インストール容量プラス以下の容量



サン・マイクロシステムズ株式会社

本社	〒158-8633 東京都世田谷区用賀4-10-1	SBSタワー	電話(03)5717-5000(代)
山王オフィス	〒100-6160 東京都千代田区永田町2-11-1	山王パークタワー12F	電話(03)4232-2400(代)
中部支社	〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-14-4	エグゼ丸の内507	電話(052)203-1233(代)
大阪支社	〒541-0052 大阪市中央区安土町1-8-15	野村不動産大阪ビル5F	電話(06)6265-5700(代)
九州支社	〒814-0001 福岡市早良区百道浜2-1-22	福岡SRPセンタービル3F 308	電話(092)834-0101(代)
つくば営業所	〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-6-1	つくば三井ビルディング11F	電話(0298)51-2210(代)
豊田営業所	〒471-0833 愛知県豊田市山之手5-73-1	山之手ビル7F	電話(0565)25-5701(代)
ホームページ	http://sun.co.jp/ (http://sun.co.jp/cstudy/ にて各事例をご覧ください)		

©2003 Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Sun, Sun Microsystems, サンのロゴマーク、Java、Solaris、Sun Fireは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。すべてのSPARC商標は、米国SPARC International, Inc.のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC商標がついた製品は、米国Sun Microsystems, Inc.が開発したアーキテクチャに基づくものです。